

# はじめに



本市では、2002年に改訂した環境基本計画に基づき、「人と環境が共生する都市・かわさき」の実現を目指して総合的な環境施策を進めております。

この間、周辺自治体と共同したディーゼル車対策等の諸施策の実施により、大気環境の大幅な改善が進むとともに、多摩川などでは、多くの鮎の遡上が見られるなど、河川の水質改善も進んできております。

その一方で、本年2月からのIPCCの第4次報告の各作業部会からの発表によりますと、地球温暖化が確実に進展しており、その原因は、人為起源による二酸化炭素などの温室効果ガスの増加によるものと断定され、地球温暖化問題が早急に取り組むべき課題として大きくクローズアップされております。

本市では、これまで「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまち」を目指した取組を推進しており、平成17年度には、「かわさきチャレンジ・3R」を策定し、ごみの減量、資源化の推進をめざすとともに、「市民による10万本植樹運動」などの緑の創出や緑地保全施策等を進めております。本年3月には、「かわさきエコドライブ宣言登録制度」を開始し、自動車からの二酸化炭素や大気汚染物質の削減を進めているところです。

こうした施策を推進するには、皆様の御協力が是非必要であり、市をはじめ、市民、事業者それぞれの役割で、また、協働して、取組を推進していくことが大変重要であると考えております。

市としましては、こうした取組をさらに推進するとともに、「川崎市役所エコオフィス計画」に基づき、市役所での省資源、省エネルギーさらには二酸化炭素の排出量削減に率先して取り組んでまいりますので、市民、事業者の皆様におかれましても日々の生活や事業活動の中で、環境に配慮した行動を積極的に進めていただきますよう御協力をお願いいたします。

さて、この環境基本計画年次報告書は、2006年度における市の環境の現状と施策の実施状況をとりまとめたものです。

本書を御覧いただきまして、本市の環境の現状を御理解していただくとともに、本市の環境施策に対する、市民の皆様からの貴重な御意見、御要望をいただければ幸いに存じます。

2007年11月

川崎市長

阿部孝夫